

テレビ画面にメッセージを表示させる方法

テレビ画面に手動または自動でメッセージを出したい場合、静止画放送でテキストを表示させる方法とデータ放送でテキストを表示させる方法の2通りがあります。静止画放送では映像そのものを書き換えます。データ放送ではデータの更新で行います。ヌルテキストを表示している画面（つまり何も見えない状態）に実データのテキストを書き込むことによりメッセージが出るようになります。映像画面には静止画放送、データ放送画面にはデータ放送を表示します。データ放送画面には子画面に映像画面を表示させることができます。大まかに言えば、静止画放送では放送局側による操作、データ放送では受信側ユーザによる操作でメッセージを表示するという違いがあります。前者は緊急メッセージ向き、後者は日々のお知らせメッセージ向きと言えます。一部のメッセージだけではなく、静止画放送でもデータ放送でも画面そのものを全く別なものに局側から強制的に書き換えることができます。

○ 静止画放送

メリット

- ・ ほぼ即時(2秒弱遅れ)にメッセージを送ることができる。
- ・ 表示時間を指定して自動的にメッセージを消去することが可能
- ・ データ放送の操作をしている場合でも映像画面を出している限り常にメッセージ到着を知ることができる。

デメリット

- ・ 静止画映像を書き換えるのでユーザが表示OFFにできない
- ・ 前のメッセージは次のメッセージが着たら消去される(複数のセンテンスを表示できるので、次のメッセージに前のメッセージを含んだものを送れば前のメッセージが消去されないように見せることは可能)。
- ・ メールでの表示は不可

○ データ放送

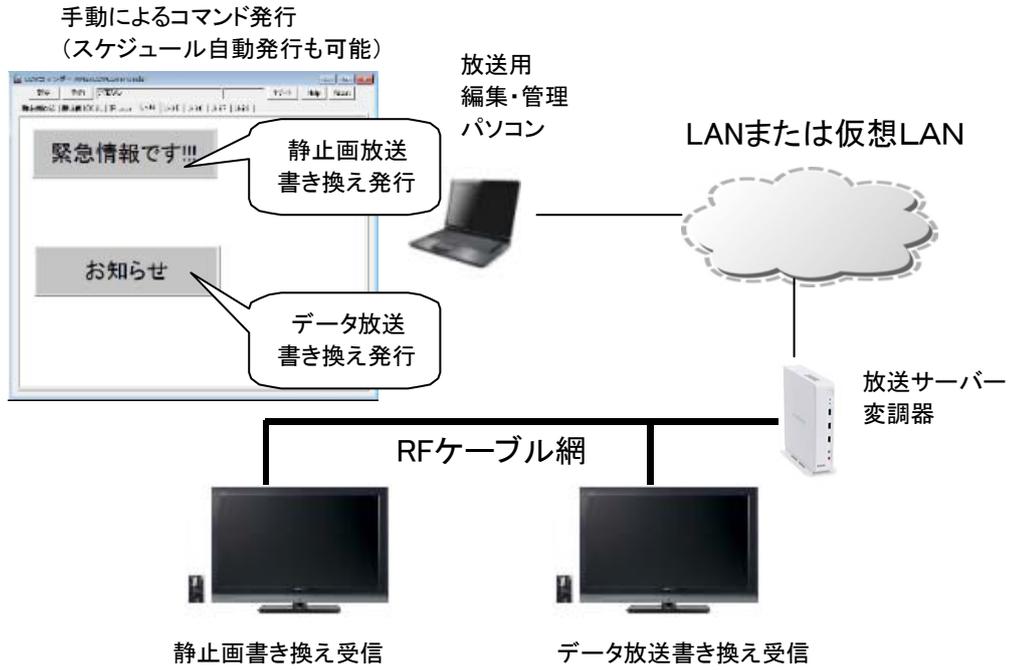
メリット

- ・ 複数の表示項目を同時に書き換えることが可能
- ・ メッセージが邪魔なときはユーザがOFFにできる
- ・ メールやウェブ更新によるデータ更新が可能
- ・ メッセージの履歴表示にも対応可能

デメリット

- ・ メッセージの更新をかけてから 5~10 秒の時間を要する(メール更新の場合は数十秒、ウェブ更新の場合は数十分)。オプションのイベントメッセージ機能を使うと 1 秒以下で表示可能
- ・ メッセージを表示させるデータ放送画面(ページ)を表示していなければメッセージが来たことがわからない。ただし、映像を全面に出している場合でも実は透明のデータ放送画面が表示されているので、ここにデータを書き込めば静止画放送のメッセージと同じようなメッセージを表示できる。

デジタルテレビ掲示板 WIZ

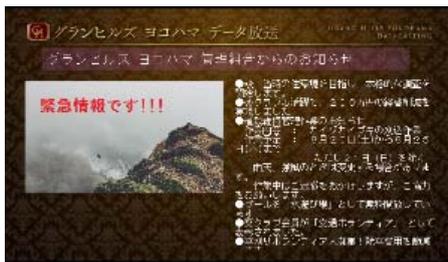


映像全画面

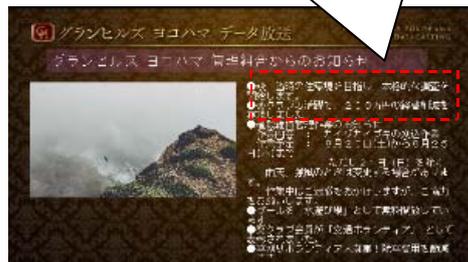


映像全画面

データ放送部の一部が書き換わる



データ放送画面



データ放送画面